



社会に役立つことを目指す新たな方言学の誕生！

実践方言学講座

全 3 巻

◎小林隆 編者代表



現 代社会において、方言はたんなる「地域のことば」という以上の役割を担っています。実践方言学とはその役割に光を当てた、人の役に立ち生活を潤す実践的・実用的な方言学です。地域を活性化したり、次世代に伝える方策を考えたり、地域の人々の絆を強めたりなど、方言の新たなあり方を示します。行政職員、教師、医療・福祉関係者の方々必読の書です。

第1巻 ● 社会の活性化と方言 半沢康・新井小枝子 編

方言エールやゆるキャラ名への方言活用、またマスメディアでの方言の扱われ方など、地域社会・経済を活性化させるための方言活用を紹介する

第2巻 ● 方言の教育と継承 大野真男・杉本妙子 編

学校や地域での方言教育のあり方や実践例、また方言教科書の紹介など、方言を次世代へ継承するための方策を取り上げる

第3巻 ● 人間を支える方言 小林隆・今村かほる 編

災害時や医療福祉現場で、また日本語を母語としない外国人との間に時に問題となる方言コミュニケーションについて、現状と展望を示す



2020年11月 3巻同時刊行 ◎各巻 A5判上製カバー装 ◎予価 4,400円+税



社会に役立つことを目指す新たな方言学の誕生！

実践方言学講座

全 3 卷

◎小林隆 編者代表



第1巻 ● 社会の活性化と方言

半沢康・新井小枝子 編

地域経済のための方言活用（渡邊潤爾）／メッセージの中の方言活用（田中宣廣）／キャラデザインにおける方言活用（日高水穂）／IT 社会の中の方言活用（中西太郎）／映像メディアにおける方言活用（田中ゆかり）／舞台芸術における方言活用（鳥谷善史）／バラエティ番組における方言活用（松本修）／放送番組における方言活用（塩田雄大）／博物館における方言活用（新井小枝子）／方言を介した大学と自治体との協働（新井小枝子）／地方自治体による方言活用と地域づくり（岸江伸介・柚木脇大輔・鶴田健介・清水勇吉）／方言を活用した市民団体の取り組み（今村かほる）



第2巻 ● 方言の教育と継承

大野眞男・杉本妙子 編

学校教育における方言学習の可能性（大野眞男・杉本妙子）／小中学校での方言教育の実践と課題（児玉忠）／ふるさとのことばを学ぶ被災地での授業実践（小林初夫）／高等学校での方言教育の実践と課題（札埜和男）／大学での方言教育の実践と課題（佐藤高司）／生涯学習における方言の役割（加藤和夫）／方言継承と昔話の語りの活動（杉本妙子・今村かほる・竹田晃子・小島聡子）／地域のことばによる演劇活動（山浦玄嗣）／地域の行政との連携による方言継承支援活動（三樹陽介・茂手木清・金田章宏）／方言教科書のつくり方（山田敏弘）／地域の暮らしを継承するための方言教科書（菊 秀史）／沖縄県の「しまくとぅば」教育と多様な学習材（中本 謙）／継承の基盤としての方言会話の記録（小林 隆・内間早俊・坂喜美佳・佐藤亜実・小原雄次郎・櫛引祐希子）



第3巻 ● 人間を支える方言

小林隆・今村かほる 編

福祉社会と方言（友定賢治）／医療における方言の課題（岩城裕之）／介護における方言の課題（今村かほる・岩城裕之）／司法・行政における方言の課題（札埜和男）／災害と方言をめぐる課題と指針（津田智史・小林 隆）／災害時における研究者間の連携（二階堂 整）／支援者向け方言パンフレットの作成（村上敬一）／仮設住宅における方言支援活動（櫛引祐希子）／災害からの復興期における行政と方言研究者の連携（半沢 康・本多真史）／日本語教育における方言の課題（後藤典子）／外国人医療・介護従事者と方言（中島祥子・今村かほる）／言語サービスの国際比較（武田 拓・岩城裕之）